

消化器内科医

井野 裕治 YUZI INO

私は自治医科大学を2002年に卒業し、出身地である熊本県で9年間僻地勤務を行った後に、2011年より大学に戻り現在に至っています。今でこそ最先端の内視鏡の検査および治療に携わっていますが、僻地勤務中には内科のみならず、小児科や外科系の疾患も多く経験してきました。特に診療所勤務時には医師が自分しか居ないため、自分で調べ、考える能力が身についたと思います。自分では内視鏡のspecialistと言うより、内視鏡のできるgeneralistだと考えています。

現在、私は消化器内科の消化管グループに所属しています。その中でも特に食道、胃、十二指腸を専門としています。NBIやBLIといった特殊光を用いた病変の診断やESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）による早期悪性腫瘍の治療を行っています。ESDについては胃、食道、大腸についてはいずれも80症例以上は経験しており、去年は100mm前後の病変（胃および直腸）を外勤先で切除することもありました。ただし、十二指腸のESDに関しては2例程度であり、今後さらに研鑽を積み、症例を増やして行きたいと考えております。

藤間病院では土曜日（隔週）の上部内視鏡を担当させていただく予定です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

・自治医科大学 消化器・肝臓内科